

VI 母子保健（妊娠期・乳幼児期・学童生徒期）の状況

1 妊娠から産前産後

(1) 妊娠届出者数

年度	平均週数 (週)	平均年齢 (歳)	総数 (人)	11週以下 (人)	12～19週 (人)	20週以降 (人)	分娩後 (人)	不詳 (人)	要支援者(人)	
										再掲)10代妊婦
R1	9.4	30.3	732	685	37	8	2	0	138 (18.9%)	10 (1.4%)
R2	9.2	30.3	722	670	44	7	1	0	153 (21.2%)	10 (1.4%)
R3	9.1	30.6	632	596	34	2	0	0	158 (21.9%)	1 (0.2%)

出典：別府市母子保健小委員会

令和2年度の妊娠届出者数は722人で、その内要支援者数は153人である。妊娠届出者数は、平成28年度から比べると約109人減少している。要支援者割合は令和2年度は21.2%となっている。令和2年度では、妊娠届出が分娩後になったケースが1人あった。

(2) 訪問

1) 母子訪問件数

年度	妊婦 (延)	産婦 (延)	新生児 (延)	未熟児 (延)	乳児 (延)	幼児 (延)	再掲	
							こんにちは 赤ちゃん訪問	要支援者
R1	19	799	42	14	745	65	671	189(28.2%)
R2	22	753	29	5	711	38	632	175(27.7%)
R3	16	693	20	43	714	27	679	169(24.9%)

出典：別府市母子保健小委員会

令和2年度の新児訪問件数は29人。要支援者の割合は27.7%で、平成30年度に比べると低下している。

2 乳幼児

(1) 育児相談会

1) 参加者数(人) 相談内容：計測・栄養・育児相談

年度	R1	R2	R3
乳児	260	287	188
幼児	51	58	45
その他	0	0	1
計	311	345	234

出典：別府市母子保健小委員会

令和2年度の育児相談会参加者数は345人で、乳児が287人、幼児が58人である。

参加者の割合をみると、令和2年度は乳児が83.2%、幼児が16.8%となっており、乳児のほうが多い。

(2) 発達相談会

2) 参加者数 (人)

年度		R1	R2	R3
相談者数		289	273	275
相談結果	要指導	16	32	12
	要観察	209	172	185
	要医療	64	65	61

出典：別府市母子保健小委員会

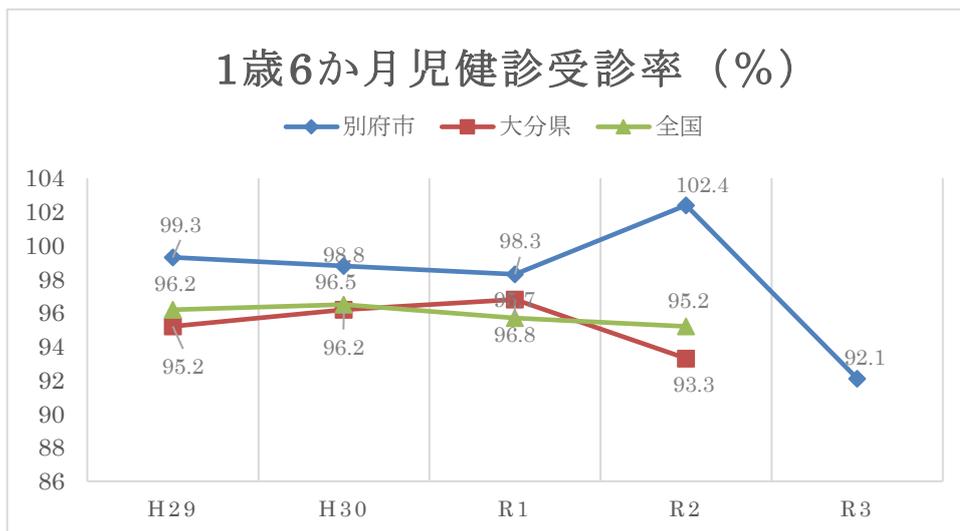
令和2年度の発達相談会の参加者数は273人であり、その結果は要指導が32人(11.7%)、要観察が172人(63.0%)、要医療が65人(23.8%)である。

(3) 幼児健康診査

【1歳6か月児健康診査】

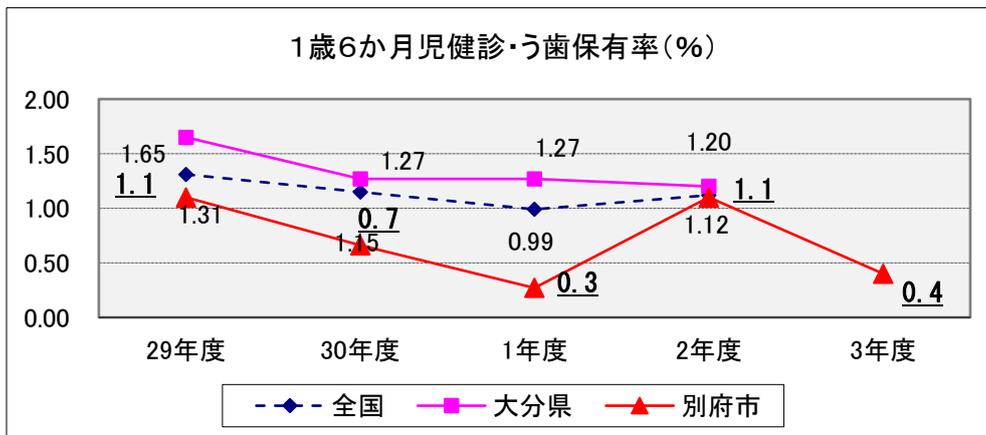
1) 受診率・結果内訳

年度	回数	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	受診者内訳 (人)					
					異常認めず		異常あり			
					異常なし	要指導	要観察	要精密	要医療	治療中
H29	12	835	829	99.3	441	91	301	40	0	47
H30	12	763	754	98.8	388	90	273	42	0	51
R1	11	761	748	98.3	401	50	193	55	0	49
R2	13	638	653	102.4	411		176	35	1	30
R3	14	761	701	92.1	435		212	18	4	32



出典：別府市母子保健小委員会

2) う歯保有率



出典：別府市歯科保健小委員会

令和2年度の1歳6か月児健康診査の受診者数は653人で、受診率は102.4%である。別府市の受診率は大分県より高い値で推移している。

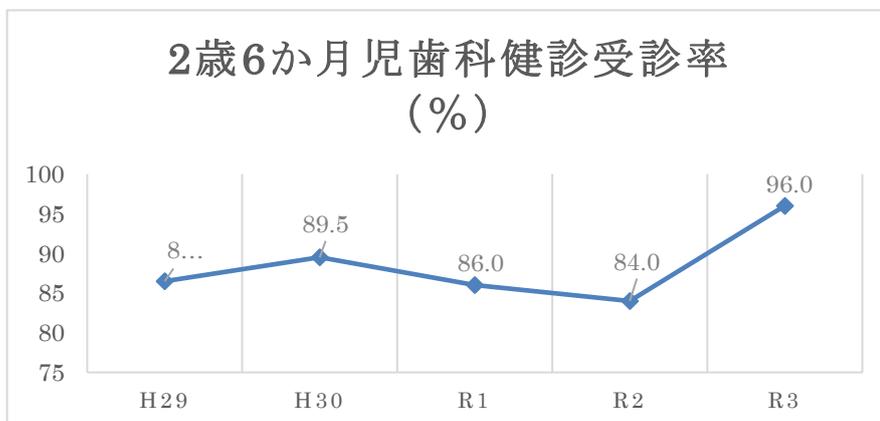
受診結果は、令和2年度では異常なしが411人(62.9%)、要観察が176人(27.0%)、要精密が35人(5.4%)、治療中が30人(4.6%)となっている。

別府市のう歯保有率は令和1年度まで低下してきたが、令和2年度は1.1%と増加している。

【2歳6か月児歯科健診】

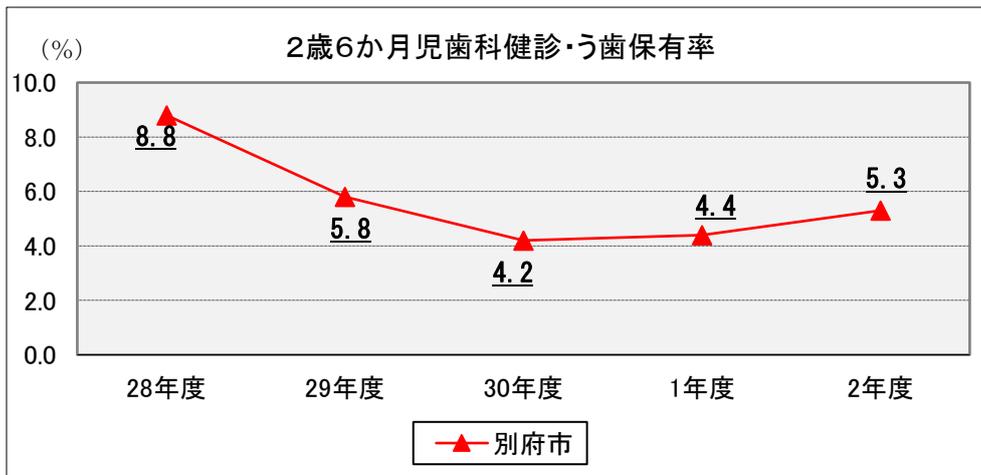
1) 受診率・結果内訳

年度	回数	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	受診者内訳(人)					
					異常認めず		異常あり			
					異常なし	要指導	要観察	要精密	要医療	治療中
H29	12	801	693	86.5	397	46	178	38		34
H30	12	826	739	89.5	401	67	170	56		45
R1	11	686	590	86	368	48	116	39		19
R2	12	744	625	84	457		119	37		12
R3	14	792	760	96	515		182	32		31



出典：別府市母子保健小委員会

2) う歯保有率



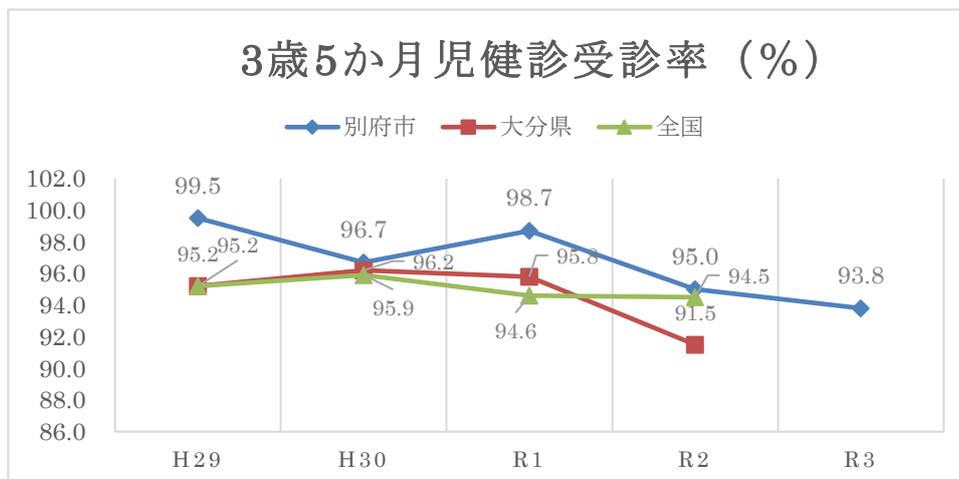
出典：別府市歯科保健小委員会

令和2年度の2歳6か月児歯科健診受診者数は625人で、受診率は84.0%である。受診結果は、令和2年度では異常なしが457人(73.1%)、要観察が119人(19.0%)、要精密が39人(5.9%)、治療中が12人(1.9%)である。令和2年度のう歯保有率は5.3%であり、令和1年度より増加している。

【3歳5か月児健康診査】

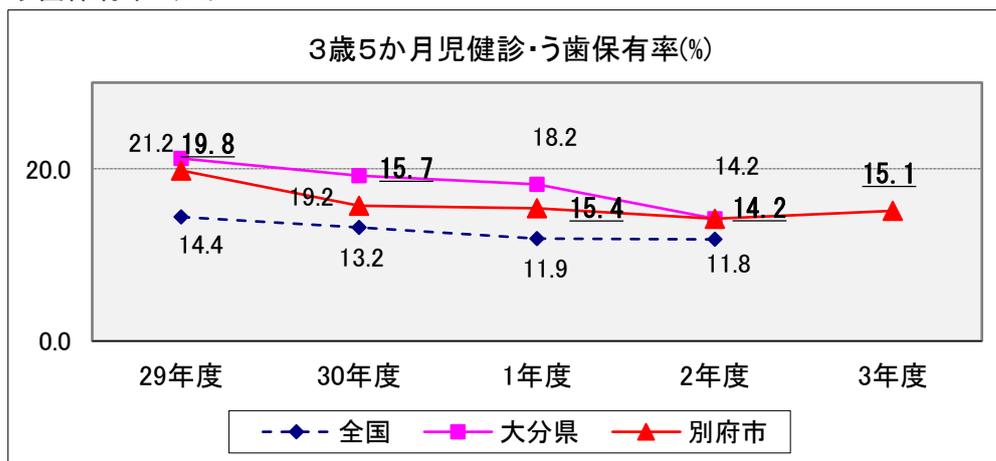
1) 受診率・結果内訳

年度	回数	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	受診者内訳 (人)					
					異常認めず		異常あり			
					異常なし	要指導	要観察	要精密	要医療	治療中
H29	12	830	826	99.5	250	47	198	352	0	26
H30	12	799	773	96.7	240	58	172	319	1	39
R1	11	743	733	98.7	243	26	103	304	0	57
R2	13	660	627	95	268		85	251	1	22
R3	14	867	813	93.8	355		121	292	2	43



出典：別府市母子保健小委員会

2) う歯保有率 (%)



出典：別府市データ 別府市歯科保健小委員会

令和2年度の3歳5か月児健診受診者数は627人で、受診率は95.0%である。別府市の受診率は全国や大分県より高い値で推移している。受診結果は、令和2年度では異常なしが268人(42.7%)、要観察が85人(13.6%)、要精密が251人(40.0%)、治療中が22人(3.5%)である。

別府市のう歯保有率は低下しており、平成27年度以降、大分県より低い値となったが、全国に比べると依然として高い状況である。

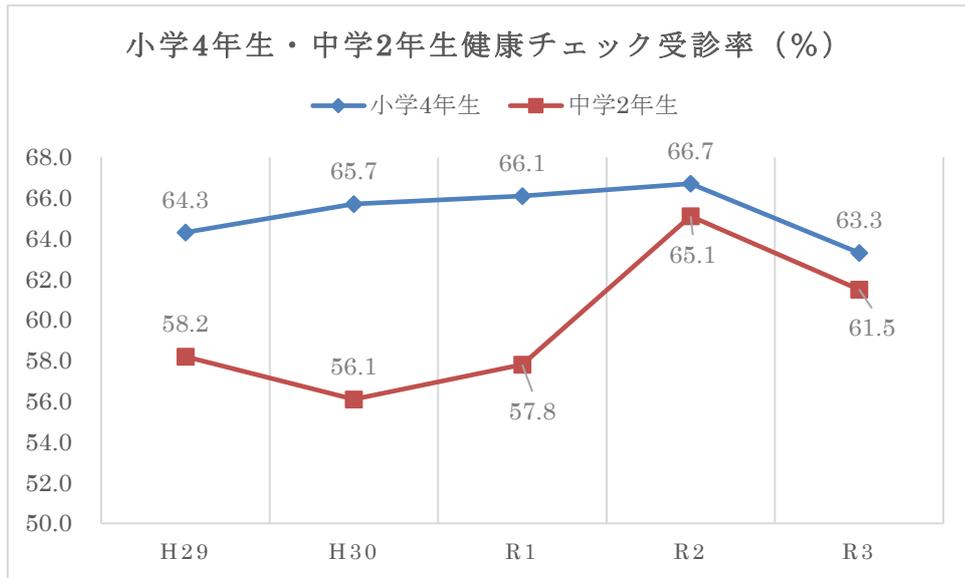
3 学童・生徒

(1) 小学4年生・中学2年生の健康チェック

1) 対象者・受診率

		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
小学4年生	対象者(人)	922	930	887	927	862
	受診者(人)	593	611	586	618	546
	受診率(%)	64.3	65.7	66.1	66.7	63.3
中学2年生	対象者(人)	928	908	947	921	898
	受診者(人)	540	509	547	600	552
	受診率(%)	58.2	56.1	57.8	65.1	61.5

出典：別府市学校保健小委員会



出典：別府市学校保健小委員会

R2 年度の受診率は小学4年生は 66.7%、中学2年生は 65.1%である。

2) 結果内訳

① 小学4年生

結果内訳	H29		H30		R1		R2		R3	
	人数	%								
医学的管理	11	1.9	37	6.1	35	6.0	29	4.7	48	8.8
経過観察	97	16.4	69	11.3	64	10.9	95	15.4	86	15.8
生活指導	30	5.1	51	8.3	61	10.4	65	10.5	50	9.2
管理不要	105	17.7	270	44.2	120	20.5	107	17.3	112	20.5
正常範囲	350	59.0	184	30.1	306	52.2	322	52.1	250	45.8

出典：別府市学校保健小委員会

② 中学2年生

結果内訳	H29		H30		R1		R2		R3	
	人数	%								
医学的管理	13	2.4	39	7.7	101	18.5	103	17.2	101	18.3
経過観察	88	16.3	52	10.2	53	9.7	50	8.3	56	10.1
生活指導	16	3.0	52	10.2	39	7.1	56	9.3	66	12.0
管理不要	92	17.0	227	44.6	59	10.8	61	10.2	97	17.6
正常範囲	331	61.3	139	27.3	295	53.9	330	55.0	232	42.0

出典：別府市学校保健小委員会

小学4年生について、R2年度の結果は、医学的管理が29人(4.7%)、経過観察が95人(15.4%)、生活指導が65人(10.5%)、管理不要が107人(17.3%)、正常範囲が322人(52.1%)である。H28年度以降、経過観察者の割合は上昇していたが、平成30年度以降は下がっている。令和2年度の医学的管理・

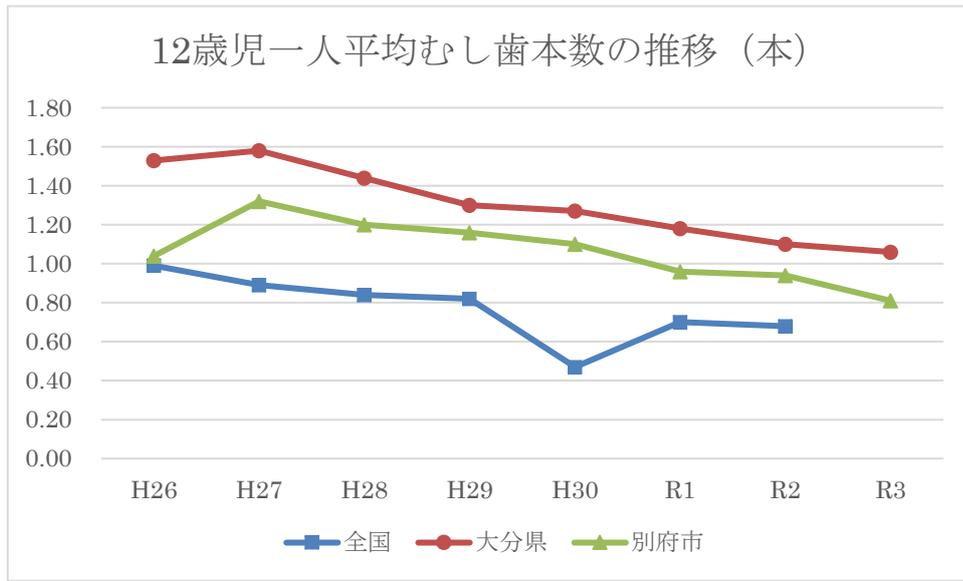
経過観察・生活指導者の割合は全体の30.6%を占める。

中学2年生について、令和2年度の結果は、医学的管理が103人(17.2%)、経過観察が50人(8.3%)、生活指導が56人(9.3%)、管理不要が61人(10.2%)、正常範囲が330人(55.0%)である。令和2年度の医学的管理・経過観察・生活指導者の割合は全体の34.8%を占める。

(2) 歯科検診結果

① 12歳児一人平均むし歯本数の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全国	0.99	0.89	0.84	0.82	0.47	0.70	0.68	
大分県	1.53	1.58	1.44	1.30	1.27	1.18	1.10	1.06
別府市	1.04	1.32	1.20	1.16	1.10	0.96	0.94	0.81



出典：別府市歯科保健小委員会

別府市の12歳児一人平均むし歯本数は、全国よりも高く、県より低い値で推移している。年々減少している。

4 予防接種

(1) 定期予防接種接種者数

(延べ人数)

		対 象	1年度	2年度	3年度
ロタ	ロタリックス1価	生後6～24週まで	/	646	727
	ロタテック5価	生後6～32週まで			970
B型肝炎		生後1歳に至るまで	2,103	2,003	2,067
Hib		生後2か月以上5歳に至るまで	2,824	2,856	2,641
小児用肺炎球菌		(開始時期により接種回数は異なる)	2,899	2,784	2,627
4種混合 不活化ポリオ		生後3か月～7歳6か月に至るまで	2,965	2,877	2,778
			1	1	0
BCG		生後1歳に至るまで	722	681	708
水痘		生後12か月～36か月に至るまで (既に水痘にかかったことのある者は除く)	1,429	1,517	1,215
日本脳炎		6か月～7歳6か月未満、9歳～13歳未満	4,687	4,883	2,642
2種混合		11歳以上13歳未満	609	812	607
子宮頸がん		小学校6年生から高校1年生相当の女子	73	252	478

*ロタワクチン：令和2年10月から開始。

出典：別府市感染症予防小委員会

(2) 任意予防接種接種者数

	対 象	H30年度	R1年度	R2年度
おたふくかぜ	1歳～5歳未満の者	709	628	804

*おたふくかぜ：平成27年4月より3,000円の助成を開始。接種者は差額を支払い。

出典：別府市感染症予防小委員会

(3) MR 予防接種

1) MR 第1期 (満1歳～2歳未満 ※行政措置 生後24か月～2期対象前)

年 度	対象者数	定期接種者 (行政措置者)	定期接種率
平成30年度	763	755 (19)	99.0%
令和1年度	766	759 (12)	99.1%
令和2年度	685	737 (18)	107.6%

対象者数：各年度10月1日時点

出典：別府市感染症予防小委員会

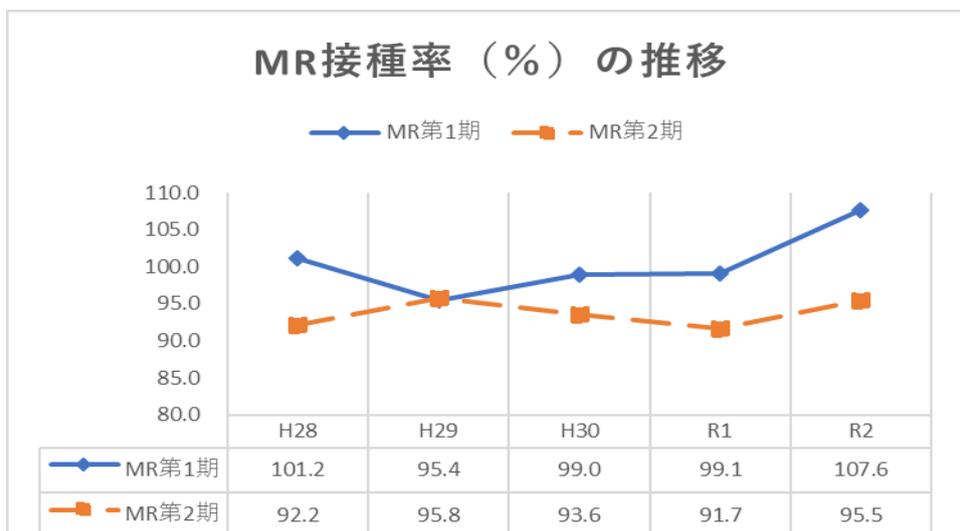
2) MR 第2期 (満5歳～7歳の就学前1年 ※行政措置 小学校1年生)

年 度	対象者数	定期接種者 (行政措置者)	定期接種率
平成30年度	875	819(5)	93.6%
令和1年度	870	798(10)	91.7%
令和2年度	814	777(23)	95.5%

対象者数：各年度4月1日時点

出典：別府市感染症予防小委員会

3) MR ワクチンの接種率の推移



出典：別府市感染症予防小委員会

MR 第1期の定期接種率はH30年度以降99%を超えている。

MR 第2期の定期接種率はH30年度、令和1年度に低下したが、令和2年度に上昇している。